

# 「VIVA CON AGUA No.1 Summer,2012 GOSSIPS 8月号増刊」 (エコとオーガニック志向の新創刊雑誌／発行:キャタリスト 2012年7月2日)

1人1人の一步のやさしさが集まると  
もっと素敵な世界が見えてくる。

## 人と地球にやさしさを届けよう!

Photos: PWJ(P123型ティモール) Thinkstock/Getty Images(P124)  
Edit: Mana Kaneko

### ①やさしい活動

#### 1粒のどんぐりが生み出す人と自然のやさしさの輪

拾ってきたどんぐりの苗を育て、常緑広葉樹の本物の森を作ろうという「いのちの森づくり」の活動をしている社会福祉法人の進和学園。ここでは、国際生態学センター長の宮脇昭先生のご指導の下、障害者の方たちが作業を行っています。地球環境を考えるだけでなく、障害者の労働、教育も一緒に担っているのがまた魅力的なところ。「自然の森はいろいろな種類が混ざり合っている。これが生物社会のオキテ。人間社会も一緒。仲のよいものだけを集めてもダメ。混ぜる、混ぜる、混ぜるんです!」と宮脇先生がおっしゃるように、みんなが交流を持って、自然と共存して生きていける環境づくり。それが、本当のやさしさの輪なのかもしれませんね。



#### どんぐりから「いのちの森づくり」



常緑広葉樹のどんぐりを拾ってきて、3年かけて苗になるまで育て、必要のある場所に植樹をしている「いのちの森づくり」。1粒のどんぐりが、大きな木になり自然の防風林・防災林になるだけでなく、日本の土地に合った木を植えることで、より土地に根付き、地下水を貯蔵し、ミネラルを川や海に流し、生産者としての役割を果たします。そのため、短期間で本物の森が再生される、時短プロジェクトなのです。また、どんぐりは津波でも倒れないほど根を深く張るため、進和学園では、東北の防潮林として現在1万2000粒のどんぐりを育てています。

#### 東ティモールのスペシャリティ・コーヒー



生産者組合「カフェ・タタマイラウ」を支援するフェアトレード珈琲は、化学肥料も農薬も一切使わず、南国の太陽の恵みをいっぱい浴びた自然農法で育てられています。また、品種改良もなく原種に近い希少な生豆で、味も専門家より「スペシャリティ・コーヒー」と認定された、香り高く滑らかな舌触り。その生豆を、障害者の方が手作業で選別し、植樹用の苗木を育てる「いのちの森づくり基金」付きで販売しています。1つで3倍やさしい、本当のスペシャリティ・コーヒーなのです。

### ②やさしさ体験!

私たちにもできること

#### どんぐりのポット苗づくり や植樹体験

どんぐりのポット苗づくりは、昼食・お土産・送迎付きで1人1500円で、5名様より受け付けています。事前予約が必要ですが、希望日のリクエストができます。その他植樹イベントも随時行っているのでHPをチェックして参加してみてください。



#### 障害者の就労を援助

どんぐりの苗を育てるだけでなく、コーヒーや、クッキー、その他、さまざまなグッズを制作して販売しています。購入できるのはもちろん、デザインから発注ができる石鹸や手すきカードなどもあります。結婚式などの引き出物にもオススメです。

#### フェアトレード商品を購入

進和学園で選別され、販売している東ティモールで作られた珈琲豆「カフェ・ブーケ」は、「いのちの森づくり」の寄付基金付き。100g×10袋または、ドリップ10g×50包のご購入で苗木が1本植樹されます。オンラインショップ <http://xc531eccart.jp/b625/>



体験予約や各種問い合わせ  
研進(社会福祉法人 進和学園 就労支援団体)  
☎0463-58-5267(川下迄)  
[www.kenshin-c.co.jp](http://www.kenshin-c.co.jp)